

# COVID-19 肺炎に関する患者さんの 情報の研究利用についてのお知らせ

この度国立病院機構東京医療センター救急科では、「COVID-19による重症肺炎の特徴を解明するためのリアルワールドデータベースの構築」に参加することになりました。

この研究の目的は、COVID-19肺炎の患者さんの治療結果を調べて、その特徴を明らかにすることです。

この研究のため、2020年1月1日より2021年9月30日までに治療した方の診療録、検査データ等の調査を行います。対象となるのは集中治療室で重症肺炎の治療を行った方で、調査項目は個人情報を含まない医学的な情報（血液検査データ、治療内容、治療後の予後など主たる情報を具体的に何点か記載）のみです。患者さんのお名前、住所などのプライバシーに関する情報が外部に漏れることは一切ありませんのでご安心下さい。

調査したデータは本研究の代表であります名古屋大学医学部附属病院 救急科に電子媒体に保存後に送付され厳重に管理されます。本研究には、他に小牧市民病院、豊橋市民病院、大阪公立大学医学部附属病院、筑波大学医学部附属病院、名古屋市立大学病院、中京病院、日本赤十字愛知医療センター名古屋第一病院、北里大学医学部など（別紙一覧参照）も参加します。今回の研究で得られた結果に関しては、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告されることがあります。ご自身のデータを研究に利用することを承諾されない方は下記にご連絡下さい。その場合も、診療上何ら不利な扱いを受けることはありません。この件に関しましてご質問等がございましたらご遠慮なくお尋ね下さい。

2023年5月

研究責任者

東京医療センター 救急科 太田慧

連絡先 03-3411-0111(代表)

## 別紙 研究参加施設一覧

名古屋大学医学部附属病院

小牧市民病院

豊橋市民病院

大阪公立大学医学部附属病院

筑波大学医学部附属病院

名古屋市立大学病院

中京病院

日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院

北里大学医学部

大同病院

群馬大学医学部附属病院

大垣市民病院

国際医療福祉大学成田病院

中東遠総合医療センター

東京医療センター